

発注仕様書に関する質問書に対する回答書

No.	頁	項目	質問	回答
1	1.1.4 2.1.5	第1章 第1節 6 全体計画 5) 災害対策 (2) 第2章 第1節 8 浸水対策	「開口部は防水扉を設けること」とありますが、ここでの開口部は、浸水水位以下のものを指していると理解してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2	1.1.5	第1章 第1節 6 全体計画 7) 基本条件 (2)	エネルギー回収率15.5%は、平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No.4でご回答いただいている通り、一般焼却対象ごみを92t/24h(46t/24h×2 炉)処理した際に達成するものと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	1.1.7	第1章 第1節 7 立地条件 1) 地形・土質等 (3)浸水地域	平成29年5月に提示いただいた閲覧資料「現況測量データ」にて、周囲の水田高さは0m~-0.3m程度であったことから、周囲水田の高さをT.P.±0mと理解してよろしいでしょうか。	平成29年5月に提示した閲覧資料「現況測量データ」については、すべてT.P.の数値であるため、そのデータを基準に判断して下さい。
4	1.1.7	第1章 第1節 7 立地条件 5) 敷地周辺設備 (6)生活排水	生活排水は「プラント排水と合算し50m ³ /日未満とする」とありますが、これは建設工事中も適用されると考えてよろしいでしょうか。	お見込のとおりです。

No.	頁	項目	質 問	回 答
5	1.2.1	第1章第2節 1 処理能力 3) 計画ごみ量	<p>「①一般焼却対象ごみ量」と「②災害廃棄物量」が示されていますが、本技術提案書の提出資料は、平成29年6月提出の見積提案書と同様に下記の通り作成するものと考えてよろしいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物質収支及び計算書：1炉あたり46 t /24hで作成 ・用役収支計算書、年間用役費：年間処理量21,852 t /年で作成 	お見込みのとおりです。
6	1.2.3	第1章 第2節 7 主要設備方式 7) 給水設備	<p>プラント用水に使用できる浄化センター放流水の1日の使用水量について、平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No. 16で制限がない旨のご回答をいただいておりますが、変更はないものと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No. 16で示したとおり、下水道施設からの放流は、常時ではなく放流水槽が満水になると放流しますが、1日の使用可能水量については、下水道施設から放流される水量約1,500m³/日（最小値）の50%とし、その他条件は、柳川市と協議いたします。</p> <p>また、下水道施設からの取水箇所は、維持管理の面から汚泥処理棟から取水することが望ましいことが判明したため、汚泥処理棟の受水槽から取水するよう設計してください。場合によっては、現地確認も可能としますので、必要な場合は、本組合に連絡を取って下さい。</p>
7	1.2.3	第1章 第2節 7 主要設備方式 9) 灰出し設備	<p>飛灰は通常薬剤処理して最終処分場へ搬出するものであり、「セメント原料化施設へ搬出する設備」は、飛灰処理システムでトラブルが発生した場合のバックアップのために設けるものという理解でよろしいでしょうか。</p>	最終処分場が埋立完了した後、セメント原料化施設への搬出を想定しています。

No.	頁	項目	質 問	回 答
8	1.2.4	第1章 第2節 8 余熱利用計画 2)	「場内建築設備関係余熱利用設備：場内給湯他」とのご指示ですが、平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No. 17でご回答いただいている通り、場内給湯については、ライフサイクルコストで優位性があれば、電気式にて提案可能と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
9	1.2.8	第1章 第2節 12 環境保全	「法令の変更等に伴い公害防止基準値の軽微な変更を行った場合は、これを遵守できるものとする」とありますが、プロポーザル提案説明書p16のリスク分担表では、「1. 建設工事に影響を及ぼす法又は制度の新設・変更」や「10. 本組合の責による事業内容の変更等に起因する要求性能の変更」は、貴組合がリスクの責任負担者となっております。リスク分担表と異なること、また、「軽微な変更」の定義が不明確なことから、本記載事項については、平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No. 18でご回答いただいている通り、貴組合の責任負担と考えてよろしいでしょうか。	平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No. 18において、同様の質問に対して組合負担と回答をしています。よって、プロポーザル提案説明書p16のリスク分担表により、法令の変更等に伴う公害防止基準値の軽微な変更は組合負担とし、「法令の変更等に伴い公害防止基準値の軽微な変更を行った場合は、これを遵守できるものとする」を削除します。
10	1.3.5	第1章 第3節 3 施工要領	本敷地内において地中埋設物等が確認された場合、その処理及び工期の変更は別途協議いただけるものと理解してよろしいでしょうか。	お見込のとおりです。
11	1.3.6	第1章 第3節 3 施工要領 7) 建設公害対策 (2)	「海苔養殖等の保護のために～下水道施設へ放流すること」とありますが、工事に伴い発生する排水の処理及び放流について、海苔養殖等の関係者との協議・調整は完了しているものと考えてよろしいでしょうか。	お見込のとおりです。

No.	頁	項目	質 問	回 答
12	1. 3. 7	第1章 第3節 3 施工要領 10) 地下水	「本工事により、周辺地域に地下水汚染、井戸涸れ等が生じることのないよう調査及び対策を実施し、十分な措置を行うこと」とありますが、想定されている井戸の場所や使用状況をご教示願います。	影響が想定される周辺の施設（下水道施設、柳川市不燃物処理場）では、井戸の使用はありません。また、地下水には塩分が含まれているため、生活用水に使用している可能性は低いと思われませんが、必要な措置は行ってください。
13	1. 9. 1	第1章 第9節 2 土木建築工事 2) 土木工事及び外構工事 (2)	「外構工事（門・囲障工事、植栽工事は工事範囲外、ただし設計は工事範囲内）」とありますが、敷地内のすべての門・囲い（フェンスや塀など）・植栽が工事範囲外であると理解してよろしいでしょうか。	敷地内のすべての門・囲い（フェンスや塀など）・植栽の設計については、本事業の範囲に含みます。
14	1. 9. 1	第1章 第9節 2 土木建築工事 2) 土木工事及び外構工事 (2)	「外構工事（門・囲障工事、植栽工事は工事範囲外、ただし設計は工事範囲内）」とありますが、これらの工事に関する内訳書の作成は、本事業の範囲に含まれないと理解してよろしいでしょうか。	工事に関する内訳書の作成は、本事業の範囲に含みます。
15	2. 1. 2	第2章 第1節 2 断熱、保温	「夏季において機器の表面温度を外気温+40℃以下とすること。」とありますが、性能保証事項13 炉体、ボイラケーシング外表面温度（p1. 6. 6）では、「原則として、80℃以下かつ室温+40℃以下」となっていますので、機器の表面温度は「80℃以下かつ室温+40℃以下」を遵守するものと理解してよろしいでしょうか。	機器の表面温度は、「80℃以下かつ室温+40℃以下」といたします。

No.	頁	項目	質 問	回 答
16	2. 1. 5	第2章 第1節 7 地震対策	機械設備工事におけるプラント機器の支持架構の耐震設計については、平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No. 25でご回答いただいている通り、火力発電所の耐震設計規定に準拠するものと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
17	2. 1. 5	第2章 第1節 7 地震対策 5)	「緊急地震速報を受信」とありますが、受注者にて緊急地震速報の受信端末を設置するものと理解してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
18	3. 3. 3	第3章 第3節 1 ボイラ 2) ボイラ鉄骨・ケーシング・落下灰ホップシュート (3) 主要項目材質	「ケーシング SS400 1.2mm以上（点検作業が必要な箇所）」とありますが、平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No. 35でご回答いただいている通り、点検作業がない箇所の外装材は角波カラー鉄板としてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
19	3. 5. 4	第3章 第5節 1 発電設備 4) グランド蒸気復水器	ライフサイクルコストの低減が見込まれることから、低圧蒸気復水器にグランド蒸気の復水機能を持たせたうえで、グランド蒸気復水器を非設置としてもよろしいでしょうか。	ライフサイクルコストの低減が見込まれるのであれば、可能とします。

No.	頁	項目	質問	回答
20	3.5.7	第3章 第5節 2 温水供給設備 3) 場外給湯用設備 (3)	「外部温水供給用配管（敷地境界まで）」とありますが、敷地境界における取合い場所をご教示願います。また配管の接続方法についてもご教示願います。	西側緑地帯に接続用ピットを設け、ピット内に仕切り弁を設置し、配管の末端をキャップ若しくはフランジ止めとして下さい。 取合い場所は、実施設計において協議します。
21	3.8.9	第3章 第8節 8 浄化センター放流水系 2) 浄化センター放流水移送ポンプ (4) 設計基準 ①	「下水道施設の生物ろ過棟に設置」とありますが、ポンプ基礎を新設する必要があるのでしょうか。	下水道施設からの取水箇所は、維持管理の面から汚泥処理棟から取水することが望ましいことが判明したため、汚泥処理棟の受水槽から取水するよう設計してください。場合によっては、現地確認も可能としますので、必要な場合は、本組合に連絡を取って下さい。
22	3.8.9	第3章 第8節 8 浄化センター放流水系 2) 浄化センター放流水移送ポンプ (4) 設計基準 ①	浄化センター放流水移送ポンプの電源は、下水処理場側で確保するものと考えてよろしいでしょうか。	下水道施設からの取水箇所は、維持管理の面から汚泥処理棟から取水することが望ましいことが判明したため、汚泥処理棟の受水槽から取水するよう設計してください。場合によっては、現地確認も可能としますので、必要な場合は、本組合に連絡を取って下さい。 なお、放流水移送ポンプの電源確保については、本事業の範囲に含みます。

No.	頁	項目	質 問	回 答
23	3.8.9	第3章 第8節 8 浄化センター放流水系 2) 浄化センター放流水移送ポンプ (4) 設計基準 ②	屋外（下水道施設内及び同敷地内～新ごみ処理施設）の配管は、道路の横断部を埋設とし、それ以外は地上部に敷設してよろしいでしょうか。	地上部に敷設ではなく、地下埋設とします。
24	3.8.9	第3章 第8節 8 浄化センター放流水系 4) 地域農業者用給水設備 (6) 設計基準 ④	「配管径φ50mm、浅井戸用吸込み式、2馬力1.5kW」とありますが、必要なポンプ能力(200L/分)を再利用水加圧ポンプに見込む計画としてもよろしいでしょうか。	運用に支障なければ可能とします。
25	5.2.6	第5章 第2節 2 平面計画 2) 管理棟平面計画 (1) 管理棟関係諸室	表中にある「男子更衣室」「女子更衣室」は、平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No. 51でご回答いただいている通り、それぞれ6名分のスペースを確保するものと考えてよろしいでしょうか。	お見込のとおりです。

No.	頁	項目	質 問	回 答
26	5.2.6	第5章 第2節 2 平面計画 2) 管理棟平面 計画 (1) 管理棟関 係諸室	表中にある会議室の想定使用人数は、平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No. 52でご回答いただいている通り、「小会議室」は10名、「中会議室」は20名と考えてよろしいでしょうか。	お見込のとおりです。
27	5.2.6	第5章 第2節 2 平面計画 2) 管理棟平面 計画 (2) そ の 他 ③	「来場者通路、見学者ホール及び備品庫を適切な広さで設けること」とのご指示ですが、平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No. 53でご回答いただいている通り、「備品庫」はp. 5. 2. 5に記載の研修室内の備品庫を指し、パンフレットや説明用調度品、予備椅子、長机等を収納するものと考えてよろしいでしょうか。	お見込のとおりです。
28	5.2.9	第5章 第2節 3 構造計画 4) 一般構造 (1) 屋根 ③	「防水は一般的なアスファルト防水又は、ゴム系のアスファルト防水とすること」とのご指示ですが、平成29年5月9日付の「見積仕様書に関する質問及び回答」質問No. 54でご回答いただいている通り、屋根材として折板を採用する場合には適用されないものと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
29	5.2.10	第5章 第2節 3 構造計画 4) 一般構造 (5) 建具 ④	「見学者等人が頻繁に通行する部分については、耐衝撃性ガラスとすること」とありますが、耐衝撃性ガラスとは強化ガラスのことと考えてよろしいでしょうか。また、強化ガラスであっても完全な割れ防止は図れませんので、強度のあるペアガラスに飛散防止フィルムとしてよろしいでしょうか。	耐衝撃性ガラスは強化ガラスの意味です。 「強度のあるペアガラスに飛散防止フィルム」とは、「複層強化ガラス+飛散防止フィルム」と思われますが、複層は指定していません。必要であれば提案をして下さい。

No.	頁	項目	質 問	回 答
30	5. 2. 10	第5章 第2節 4 仕上計画 1) 外部仕上 (3)	「工場棟の外部仕上げの外壁については、下地を押し成型セメント板（厚60mm）またはALC板（厚150mm上）とし、仕上げを複層仕上塗材とするが、その他の仕上げ材を効果的に配して…」とありますが、煙突外筒（排気筒）をガルバリウム鋼板角波鉄板等で提案することも可能と考えてよろしいでしょうか。他の自治体では、この材質による煙突が主流となっており、耐久性が高く、軽量なため耐震性にも優れています。	海に近いことにより、塩害が懸念されるため、発注仕様書のとおりとして下さい。
31	5. 2. 11	第5章 第2節 4. 仕上計画 3) 塩害対策 (6)	「屋外に接した吸気ガラリには、除塩フィルターを設けること」とありますが、ストレートシロッコファンなどで各部屋単独で吸気を取り入れるベンドキャップには、除塩フィルターは不要と考えてよろしいでしょうか。	除塩フィルターの設置は原則とします。しかし、除塩フィルターの設置及び交換が出来ないベントキャップについては、実施設計において協議します。
32	5. 2. 11	第5章 第2節 4. 仕上計画 3) 塩害対策 (6)	各居室に設置する全熱交換器の吸気取込みのダクトには、除塩フィルターは不要と考えてよろしいでしょうか。	除塩フィルターの設置は原則とします。しかし除塩フィルターの設置及び交換が出来ない全熱交換器の吸気取込みのダクトについては、実施設計において協議します。
33	5. 3. 1	第5章 第3節 2 外構工事	「本施設計画地周辺の柳川市道の整備状況と同等以上とすること」との記載がありますが、柳川市道の整備状況を確認するため、道路工事仕様書（道路構造図（路床・路盤・アスファルトやコンクリート舗装の厚さ、沈下対策））をご教示願います。	本施設計画地周辺の柳川市道の道路工事仕様書は、本組合で閲覧可能です。閲覧が必要な場合には、事前に本組合に連絡を取って下さい。

No.	頁	項目	質問	回答
34	5.3.1	第5章 第3節 2 外構工事	平成29年9月の対面的対話での経緯や経済性を考慮し、建設用地には、工事用重機を設置するための仮設用の浅層地盤改良（改良厚1.5m程度、固化材50kg/m ³ 相当）を行う計画を考えています。 これにより、同時に車両の通行が想定される場所は、路床設計CBR3相当の強度を確保することとなりますが、この計画は、ご指示の「本施設計画地周辺の柳川市道の整備状況と同等以上」に相当するものと理解してよろしいでしょうか。	本施設計画地周辺の柳川市道の道路工事仕様書の閲覧は可能としますので、閲覧結果をもとに、建設用地に係る対策を行ってください。 また、敷地内のうち、水路付替え部分と南側の潮遊溝に接する部分については、特に路面の沈下等の配慮が必要であると考えています。
35	5.3.1	第5章 第3節 2 外構工事	外構工事について、「本施設計画地周辺の柳川市道の整備状況と同等以上」の設計・施工を行ったにもかかわらず、残留沈下や地震に伴う沈下が発生した場合、かかる沈下による損害や現状復旧に係る費用は、貴組合が負担されるものと考えてよろしいでしょうか。	施工中においては、プロポーザル提案説明書p16のリスク分担表で、「8.天災・暴動等による工事の変更・中止等が生じるリスク」は請負者の一部負担としています。 発注仕様書p1.8.1にて設計及び施工の瑕疵担保を規定しており、設計・施工に起因する場合は請負者の負担となります。しかし、引き渡し後、設計や施工に起因しない沈下は組合負担とします。
36	5.3.1	第5章 第3節 2 外構工事 4) 植栽芝張工事（施工範囲外、但し設計は範囲内）	「散水装置は施工範囲内」とありますが、植栽工事は施工が所掌外のため、植栽エリア直近までのヘッダーまでが施工範囲内と考えてよろしいでしょうか。	散水装置は、散水栓あるいはスプリンクラーを設置場所に合わせて計画し、散水装置の設置までを施工範囲内とします。なお、設置場所は実施設計において協議します。

No.	頁	項目	質 問	回 答
37	5.3.4	第5章 第3節 3 土木工事及 び外構工事仕 様 11) 地元住民 用歩行者連絡 通路 (1)構造	構造がアスファルト透水性舗装（ゴム入り）のご指示ですが、 表層：弾性ゴムチップ（黒ゴム再生品）ウレタン、下層：開粒 度アスコン舗装のことと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
38	5.4.3	第5章 第4節 3. 給排水衛生 設備工事 2) 排水設備工 事	合流・分流の区別が記入されておりませんが、汚水・雑排水合 流と考えてよろしいでしょうか。	質問の趣旨は、プラント排水を排水処理設備で処理した処理 水を下水道施設に流すまでの配管と生活排水の汚水・雑排水 を下水道施設まで流す配管を合流と考えてとしてよろしいか ということかと推測しますが、合流と考えて下さい。
39	5.4.4	第5章 第4節 9. 配管工事	汚水管の管種が「排水用鋳鉄管CIPメカニカル」と記載されておしま すが、小口径の鋳鉄管継手は製造中止になっていることから、 排水用塩化ビニルライニング鋼管を採用させていただくこと でよろしいでしょうか。	排水用鋳鉄管CIPメカニカルを排水用塩化ビニルライニング 鋼管に変更します。
40	5.5.1	第5章 第5節 2 電灯設備工 事 7)	「高効率セラミックメタルハライド灯にて電動昇降式等を採用 すること」とありますが、p. 3. 1. 6に記載のある通り、照明は LEDも採用可能と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。

No.	頁	項目	質 問	回 答
41	-	添付資料1 計画敷地区	現状、敷地西側の水路付け替え部の地盤高さは、T.P1.0mよりも低くなっていると思われませんが、本工事の着工までに、発注者にて水路付け替え部の盛土工事を行い、計画地盤高T.P1.0mとして受注者に引き渡していただけるものと考えてよろしいでしょうか。	敷地西側の水路付け替え部の地盤の高さは、L型擁壁頂部-20cmの高さまで盛土工事を行い、請負者に引き渡すものとします。